

町田市教育に関する総合的な施策の大綱の策定について

2024年度からの5ヵ年を対象期間とする第3期町田市教育に関する総合的な施策の大綱（以下、「教育大綱」という。）について、別紙のとおりを作成しましたので、報告します。

1 第3期教育大綱

別紙「町田市教育に関する総合的な施策の大綱」のとおり

2 第2期教育大綱からの主な変更点

- ・教育大綱を、子どもをメインターゲットとしたメッセージとして位置付けた
- ・基本方針に見出しを設け、解説を付けた

3 策定経過

2022年12月	2022年度町田市総合教育会議 「次期教育大綱の策定に向けて」
2023年6月	2023年度第1回町田市総合教育会議 「次期教育大綱（案）について」
2023年9月	行政報告（市民意見募集について）
2023年10月	市民意見募集 ・2023年10月1日～10月31日 ・市庁舎等27か所で実施 ・意見数 5名、10件
2023年12月	行政報告（市民意見募集実施結果について）
2024年2月	2023年度第2回町田市総合教育会議 「次期教育大綱の市民意見募集実施結果の報告及び策定について」
2024年2月	教育大綱の策定
2024年3月	行政報告（教育大綱の策定について）

4 今後の予定

広報まちだ、市ホームページにて周知

町田市教育に関する総合的な施策の大綱

1.基本理念

この教育大綱は、未来を担う子どもたちと、その育ちを支える人たちに向けた、町田市からのメッセージです。

デジタル化やグローバル化、多様性を尊重する社会の意識の高まりなどの環境変化を考えたとき、持続可能な社会の実現に向けて、子どもたちは、自ら学び、自ら考え、そして、自らの言葉で伝え、思いを実現していく力を身につけていく必要があります。

そこで、町田市では、教育に関する基本理念を

“誰もが自分らしく未来を描き、叶えるまちへ”

とします。

すべての子どもが自分らしく未来を描き、それを叶えるためには、安全・安心な生活があり、拠り所となる居場所があることに加え、子ども自身が、自分の思いを自由に表明できることが大切です。そのためには、大人たちは10年後、20年後の未来を担う子どもたちのことをしっかりと考え、一人ひとりの子どもの声に耳を傾け、尊重し、思いを受け止め、その未来の実現のために何ができるかを、それぞれの立場から考えなければなりません。

町田市は子どもにやさしいまちを目指し、大人も子どもとともに成長していった先には、町田市で学び、育て、そして暮らしてよかったと誰もが感じられ、それぞれの幸せが生まれるまちにしていきたいと考えています。

2.基本方針

基本方針Ⅰ 子どもが自分らしく生きていく力を育む

子ども自身の
学びのこと

確かな学力、健やかな体、チャレンジする力を育む。

広く確かな知識、心身の健康が、自分の未来を切り拓く源です。確実に知識を身に付け、心身の健やかな成長の先に、自分が思い描く未来が広がっていきます。そして、学力や健やかな体に加えて、自分らしく生きていくためには、他の人と比べるのではなく、そのままの自分を認め、尊重していくことが重要です。自分の考えや思いを表現することが出来て、物事に対して柔軟に対応出来る力を育み、新しいことにも意欲的に取り組むことが出来るしなやかな心を育てていきます。

自らの意見を表明し、互いに尊重しあい、協働することができる力を育む。

多様な価値観を持つ他者との関わりの中で、子どもは成長していきます。自分の意見が相手に上手く伝わらず、時には、ぶつかり合ってしまうこともあります。そのような時こそ、他者の意見に耳を傾け、お互いに理解しあいながら、ともに力を合わせて行ける力を身に付けていくことを目指していきます。

子どもにとって豊かな経験ができる機会を充実させる。

子どもにとって、自ら様々な経験を積み重ねていくことは、心身の成長につながります。学校だけでなく、町田市の豊かな自然や文化芸術に触れることや、トップレベルのスポーツを観て、あこがれ、自ら体験することで、子どもの健やかな成長を支えています。

基本方針Ⅱ 多様なニーズに応え、学びの環境を整える

子どもの学びの
環境のこと

子どもが置かれた状況に関わらず、一人ひとりに応じた、学びの環境づくりを進める。

子どもは、一人ひとり異なる個性や境遇があります。障がいのある子どもや、海外にルーツのある子ども、不登校児童・生徒、ヤングケアラーや困窮家庭の子どもなど、学びの機会を十分に得られない状況にある子どもは少なくありません。そのため、一人ひとりにあった学びを提供していきます。

教員がより一層子どもと寄り添う環境を整備する。

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しています。これらの課題解決を図るために、教員の働き方を改善することで、教員が一人ひとりの子どもとより丁寧に接することができる環境を整備していきます。

未来の子どもたちにとってより良い教育環境を整備する。

学校は、子どもたちの社会性や人間関係を形成する力を育む「場」としての役割があります。子どもたちが、多くの時間を過ごす学校において、学校での生活がより充実したものとなるよう、新たな教育の場として整備していきます。また、子どもと地域の方々との新たなつながりを生み出していく拠点となるよう取り組んでいきます。

基本方針Ⅲ 地域ぐるみで子どもの育ちを支え、ともに成長する

地域との関
わりのこと

家庭・学校・地域などがそれぞれの役割を果たしながらより一層関わりを深め、子どもの育ちを支える。

家庭をはじめ、学校や地域、団体、事業所等、様々な主体が子どもの育ちを支えるために何ができるかを考え、実践することが重要です。そうした関わりが、地域全体に広がり、子どもの育ちを支えていけるよう取り組んでいきます。

地域の大人一人ひとりが子どもの育ちに何が大切かを考え、実践していくことで子どもとともに成長する。

地域との交流は、子どもの豊かな経験につながります。10年後、20年後の未来を担う子どもたちが豊かな創造力を持ち、自ら行動できるようになるために、大人が何が大切かを考え、実践することで、子どもとともに大人自身も成長するまちを目指していきます。

基本方針Ⅳ 生涯にわたり学び、活躍できる環境を整える

生涯学習
のこと

すべての世代が活躍できるように誰もが生涯にわたり学び続けられる環境を整える。

DXなどの社会環境の変化やライフステージの変化を契機に、仕事や社会生活に必要な知識や技術を身に付けていく「学び直し」や、描いた未来を実現するために、学びたいことを学び続けられる機会を充実させていきます。あらゆる世代が、あらゆる機会に、あらゆる場所で学習し、それを活かせる人生となるように学びの環境整備に取り組んでいきます。

誰もが自分らしく豊かに暮らしていくために、豊かな自然、歴史・文化資源、スポーツなどの町田らしさを活かし、地域や生活に根差した学びの機会を充実させる。

町田市には、四季を感じられる豊かな自然や市内の遺跡から発見された考古資料、国際版画美術館等の文化施設等魅力的な地域資源があります。また、トップレベルのスポーツチームや芸術劇団、市民レベルの文化活動も盛んに行われています。こうした資源をより活かして、町田らしい学びの機会を充実させていきます。